

第 66 回日本病理学会秋期特別総会
令和 2/2020 年度 学術研究賞演説（A 演説）応募抄録

ふりがな 応募者氏名		会員 番号	
所属施設		職名	
所属住所	〒		
	電 話:	Fax:	
	メール:		
演題名			
<p>選考用抄録（900 字以内）記述の中で論文報告しているものについては、業績一覧の番号を附すこと</p>			
推薦学術評議員	会員番号: <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> _____ 印 （自署、応募者自身が学術評議員の場合自薦で可） </div>		

令和2/2020年度 学術研究賞(A演説)応募者履歴書

令和 年 月 日現在

(ふりがな) 応募者氏名		性 別	男 女
生年月日	西暦 年 月 日 (才)		
本学会での 受賞歴			
学位 および 病理関係資格等			
学歴(大学以降) および 職歴			

学術研究賞演説（A演説）選考用関連論文一覧

20 編以内。著者は省略せず全員を記載すること。応募者に下線を付すこと。

記載例：

論文

1. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Expression of ZRRF1 and its biological role in invasive ductal carcinoma of the breast. *Pathol Int* 50; 500-505, 2018
2. 田中二郎, 鈴木一郎, 山田三郎, 伊藤四郎. 浸潤性乳管癌の間質形成と臨床的特性. *診断病理*, 50; 175-180, 2017

著書

1. Suzuki I, Tanaka J: Prognostic markers for invasive breast cancer. *Histopathology*. (Ed) Yamada S, Ito S, Pathology Press, Tokyo, p.175-180, 2013
2. 田中二郎, 鈴木一郎: 乳癌の病理像と臨床像. *組織病理* (山田三郎, 伊藤四郎・編集). 病理書院, p.175-180, 2015

※ 代表的な自著論文 5 編以内の別刷り